

令和7年度 広域交通ネットワーク特別委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 令和7年7月28日（月）～30日（水）

◆調査先・調査内容

①北九州市役所（福岡県北九州市）

〈調査の内容〉

北九州市役所は、東九州新幹線整備に向けて、市独自の国に対する要望活動や、PRロゴマークを活用した機運醸成の取組を実施している。

今回は、北九州市の東九州新幹線の整備に向けた「主な取組と課題」や「整備計画路線格上げに対する市の思い」について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・東九州新幹線に対する市民の思いについて
- ・大分県の調査（久大線ルート）に関する所感について
- ・新幹線整備（基本計画路線）の停滞について
- ・新幹線開通後の地域づくりについて



②福岡県庁（福岡県福岡市）

〈調査の内容〉

福岡県庁は、2022年に「福岡県交通ビジョン2022」を策定。東九州新幹線の整備に向けて、国への要望活動の対応強化や機運醸成の取組を実施している。

今回は、福岡県の新幹線整備に向けた「主な取組と課題」について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・大分県のルート調査（久大線ルート、日豊本線ルート）に対する所感について
- ・新幹線開通による県内の並行在来線への影響について
- ・県民に対する機運醸成の取組の状況について
- ・新幹線整備に関する国の動向について



③佐賀県庁（佐賀県佐賀市）

〈調査の内容〉

佐賀県庁は、国が求める新幹線のフル規格による整備について、「在来線への影響」や「建設費負担」といった観点から、ゼロベースで議論が必要であると主張している。

今回は、佐賀県における西九州新幹線の部分開業の「効果と課題」や「今後の新幹線整備に関する考え」について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・新幹線開通による並行在来線への影響について
- ・新幹線のフル規格整備に関する考えについて
- ・新幹線開通がもたらす経済効果について
- ・新幹線整備に対する県民の考えについて



④長崎県庁（長崎県長崎市）

〈調査の内容〉

長崎県庁は、西九州新幹線の部分開業に伴い、イベントの開催など効果拡大に向けた取組を実施している。また、新幹線のフル規格整備を目指している。

今回は、長崎県における西九州新幹線の部分開業の「効果」と「課題」について話を伺った。

〈主な質疑等〉

- ・新幹線開通による並行在来線への影響について
- ・佐賀県との協議内容について
- ・西九州新幹線整備の見通しについて
- ・新幹線の建設費負担ルールについて

